

## 大阪市教育委員会による「学校選択制にかかる検証(中間まとめ)」【抜粋】

大阪市港区役所

## 1 学校選択制にかかる検証について

- (1) 令和 2 年度、3 年度に全市の公立小・中学校に入学した児童生徒の保護者全員及び地域を対象にアンケートと、平成 26 年度から実施している保護者アンケートを基に、市教育委員会が令和 4 年度に外部有識者を含むワーキンググループで議論を行い検証している。なお、以下は「中間とりまとめ」であり、年度末には「最終まとめ」が公表される予定である。

- (2) 検証の中間まとめは、市教育委員会のホームページで公表されている。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000584981.html>



- (3) 検証は9つの視点から検証が行われており、港区の課題に関連する部分の抜粋は下記2のとおり

## 2 検証のための視点

- (1) 学校選択制の満足度について

学校選択制の満足度はどうか

- 小学生の保護者、中学生の保護者とも全体として約7割の方が「良い制度だ」と回答
- 通学区域外の学校を選択された方においては小学生の保護者、中学生の保護者とも約9割の方が「良い制度だ」とのこと
- 地域団体においては、約5割の方が「良い制度だ」と回答されており、約3割の方が「良い制度だと思わない」とのこと

有識者は「全体として支持される制度になっているように見受けられた」とコメント

- (2)～(5) 略

- (6) 児童生徒の通学の安全について

児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか

- 「子どもの通学の安全に課題が生じている」と回答した保護者は、小学生の保護者全体で約 2.4 割、中学生の保護者全体で約 1 割

- 通学区域外の学校に通学している児童生徒と、通学区域内の学校を選択した児童生徒では、あまり差は見られない
- 小学校入学において、通学区域外の学校を選択された方の約5割は、自宅から学校までの距離が近いことを理由とされており、学校選択制により自宅から近い学校を選択されることにより通学の安全の確保につながっていると推察される
- 自宅から学校への通学距離などの安全性の観点から通学区域外にするか通学区域内にするかの選択がなされて(いる)
- 大きな道路があるため交通量が多い、川があって橋を渡るため遠回りになるなど立地上の問題も考慮して学校を選択するなど、学校選択制が通学路の安全確保につながっている側面があるとも言える

(7) 学校と地域、保護者の連携について

学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか

- 学校選択制により、学校と地域の関係について「悪くなった」との回答については、学校、地域団体はいずれも約1割であり、「変わらない」との回答については小学校・中学校いずれも約8割、地域団体では約6割

有識者は「保護者・地域との連携の実現は、言うまでもなく学校教育の核心的課題ですが、学校選択制の導入は、この点において影響を及ぼすわけではないということが示唆される」とコメント

(8) 風評等による学校の選択について

区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか

【下記3で港区の状況と比較】

- 「風評(うわさ)等による学校選択がされていると思うかどうか」については、小学生・中学生の保護者ともに「されていると思う」「されていると思わない」「わからない」とそれぞれ約3割で意見が分かれている
- 課題や解決策も含めて学校の取り組みの情報発信を行い、適切な学校選択が行われるよう、学校案内や学校説明会、学校ホームページなどを通じて、学校の魅力を積極的に伝えていく必要がある
- 事実と異なる風評や偏見等で学校選択に影響がないよう、(中略)周知・啓発に努めている区もあり、今後、各区においても啓発活動を積極的に行う必要がある

有識者は「学校選択制が真に機能するためには、誤った風評(うわさ)による選択は極力抑えられるべきですが、この点で現状はまだ満足のいく形にはなっていない可能性が示唆される」とコメント

(9) 児童生徒数の増減による教育的課題について

学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

- 学校選択制による児童生徒数の増減については、小中学校とも増により課題があると答えた学校は約2～2.5割、減による課題が生じていると回答した学校は約1～2割
- 児童生徒数の減による課題としては、学級数の減、教職員数の要員減と回答する学校が多くなっている。また、単学級によるクラス替えができない等の声もある。
- 学級数別に増減率から分析すると、学級数12～24の適正規模校では増減幅は少ないが、適正規模を下回る小規模校ほど減少率が高い傾向が見られ、小学校においては全年単学級の学校の通学区域内児童の通学区域外への就学はさらに高い傾向にある
- 通学区域外の学校を選択する理由の一つとして児童生徒や保護者が小規模校より適正規模校を希望されているのではないかと思われる。

有識者は「現在の形での学校選択制が学校に教職員の負担増等の新たな課題を投げかけている可能性があり、引き続き検証が必要であると思われる」とコメント

3 港区の特徴と課題への考察

検証結果は、概ね全市の傾向と同じだが、表1のとおり「風評等による学校選択について」は港区の特徴的な課題とも考えられ、表2の「全市の学校選択制の利用状況」、表3の「通学区域外の学校を選択した理由」とも併せて比較して考察すると、以下のとおりである。

(1) 小学校

ア 「風評等による学校選択がされていると思うか」について

表1の※1のとおり「思う」は全市並みだが、「思わない」が全市に比べて少なく「わからない」が多い。

イ 選択制の利用状況と選択理由

表2のとおり学校選択制の利用状況は全市と同じ程度でありながらも、その選択理由は表3のとおり「児童数・学級数が多い学校だから」の回答割合が高いことから、児童数・学級数の少ない学校の校区から多い学校を選択しているといった動向が窺える。

しかしながら、風評等があると仮定する学校が小規模校である場合、この理由で選択制を利用しても、元の校区の児童数（保護者数）自体が少ないことから、数字に表れてくる利用者数も少なくなっていると考えられる。

ウ まとめ

上記ア及びイからは、回答全体の多くを占める「児童数が少ない学校」に通う児童の保護者にとって、学校の風評等を耳にしても選択制を利用しなかった場合が想定されることから、風評等による学校選択がされているかについて、「思う」でも「思わない」でもなく、「わからない」の回答が増えている結果に繋がっていると推測される。

しかしながら、結果的には選択には結びつかなかったとしても、何らかの風評等を耳にされている可能性があることには留意が必要である。

なお、検証の「(9)児童生徒数の増減による教育的課題について」で指摘された課題に関連する可能性もあることから、区としても対応を検討していく必要がある。

## (2) 中学校

### ア 「風評等による学校選択がされていると思うか」について

表1の※2のとおり「思う」の回答が全市に比べて多い。また、本アンケートで「思う」と回答された場合に伺った「どの学校にどのような風評等があったか」によると、風評等の内容の多くは「過去における学校の『荒れ』、『生徒の様子』、『それらに対する当時の学校の対応姿勢』」等であり、事実かどうか検証できないものを含め過去の事象が風評等の元になっているものが多い外、現在の学力や生徒数の少なさといった「公表されている事実」も挙げられている。

### イ 選択制の利用状況と選択理由

表2の※3のとおり学校選択制の利用状況は全市に比べて高く、また、昨今では、特定の中学校への選択希望が集中することが続いており、その際の抽選で落選した場合には、表2では「校区の学校」に含まれてしまうことから、選択制の「利用希望者」は表2で表れる割合より、さらに高いものと考えられる。この点で、何らかの風評等があった可能性がありながらも選択制の利用は限定的にとどまっている小学校とは異なる動向が見られる。

一方、表3で、その選択理由をまとめているが、上記の風評等で回答されていたような「荒れ」「生徒の様子」「それらに対する学校の対応姿勢」に相関する項目である「学校の校内環境が良い」「教育方針や教育内容が良い」や、事実の情報を把握しやすい学力についても「全国学力・学習状況調査の結果」「卒業生の進路状況を見て」の各項目では、いずれも全市に比べて港区の割合は明らかに低く、この2つのアンケート結果は矛盾しているように見える。

### ウ まとめ

上記イの2つのアンケート結果が矛盾しているように見える理由を推察すると、事実に基づく現在の「学校の校内環境が良い」「教育方針や教育内容が良い」といった視点からよりも、どちらかという真偽に関わらない風評等による忌避意識が選択理由として多いのではないかと考えられ、本アンケートの選択理由には反映されなかったと考えられる。

この外、「公表されている事実」であると同時に風評等として挙げられた「生徒数の少なさ」については、表3で「生徒数・学級数が多い学校だから」の回答割合が全市に比べて顕著に高く、傾向としては一致している。この外、全市に比べて顕著に高い「やりたい部活動がある」、「友達が同じ学校に行く」は、生徒数・学級数が少ない学校においては部活動が限定的にならざるを得ないことや、検証の「(9)児童生徒数の増減による教育的課題について」で指摘された課題などが、新たな風評等に繋がっていると考えられる。さらに「友達が同じ学校に行く」といった選択心理によって、生徒数の多い学校を希望する風潮が一層、強くなっていると考えられる。

なお、生徒数・学級数の少ない学校に対する風評等が、検証の「(9)児童生徒数の増減による教育的課題について」で指摘された課題にも関連する可能性があることから、区としても対応を検討していく必要がある。

表1 「風評(うわさ)等による学校選択がされていると思うか」の回答割合

	小学校の保護者			中学校の保護者		
	港区 A	大阪市 B	差 A-B	港区 C	大阪市 D	差 C-D
思う	32.9%	31.0%	1.9% ※1	39.2%	27.1%	12.1% ※2
思わない	18.6%	28.5%	△ 9.9% ※1	32.1%	38.6%	△ 6.5% ※2
わからない	47.3%	36.8%	10.5% ※1	25.6%	30.0%	△ 4.4% ※2
無回答	1.2%	3.7%	△ 2.5%	3.1%	4.3%	△ 1.2%

表2 学校選択制の利用状況(現在通っている学校)

	小学校の保護者			中学校の保護者		
	港区 E	大阪市 F	差 E-F	港区 G	大阪市 H	差 G-H
校区の学校	85.3%	85.7%	△0.4%	81.5%	89.2%	△7.7% ※3
校区外の学校 (学校選択制による)	10.5%	10.9%	△0.4%	15.9%	7.5%	8.4% ※3
校区外の学校 (指定校変更による)	0.4%	0.7%	△0.3%	0.0%	0.9%	△0.9%
無回答	—	2.7%	2.7%	—	2.4%	△2.4%

表3 通学区域外の学校を選択した理由

	(単位:%)									
	小学校					中学校				
	大阪市			港区	差	大阪市			港区	差
	R2年度調査	R3年度調査	仮平均			R2年度調査	R3年度調査	仮平均		
I	J	$K = (I+J)/2$	L	L-K	M	N	$O = (M+N)/2$	P	P-O	
自宅から近く、通学しやすい	41.7	43.9	42.8	48.1	5.3	27.0	26.4	26.7	27.8	1.1
通学上の安全が確保されている	24.6	24.8	24.7	33.3	8.6	8.1	8.2	8.2	16.7	8.6
兄弟が通学している	29.8	31.6	30.7	25.9	△ 4.8	15.0	12.6	13.8	22.2	8.4
<b>友達が同じ学校に行く</b>	25.0	30.6	27.8	29.6	1.8	28.1	31.3	29.7	<b>47.2</b>	<b>17.5</b>
教育方針や教育内容が良い	20.8	17.9	19.4	14.8	△ 4.6	19.1	21.4	20.3	16.7	△ 3.6
修学旅行など学校行事が充実	1.1	1.5	1.3	11.1	9.8	2.2	1.8	2.0	5.6	3.6
地域による学校支援が充実	1.4	0.6	1.0	0.0	△ 1.0	0.9	1.2	1.1	2.8	1.8
全国学力・学習状況調査の結果	12.5	11.7	12.1	18.5	6.4	10.6	13.5	12.1	5.6	△ 6.5
卒業生の進路状況を見て						5.9	5.8	5.9	2.8	△ 3.1
学校の校内環境が良い	28.5	27.5	28.0	18.5	△ 9.5	25.2	25.7	25.5	16.7	△ 8.8
学校公開・学校説明会が良かった	10.4	10.1	10.3	11.1	0.9	9.1	9.5	9.3	2.8	△ 6.5
児童いきいき放課後事業が充実	4.5	5.5	5.0	14.8	9.8					
<b>やりたい部活動がある</b>						34.4	29.6	32.0	<b>44.4</b>	<b>12.4</b>
学校の施設設備が良い	5.3	4.7	5.0	3.7	△ 1.3	3.5	4.7	4.1	2.8	△ 1.3
<b>児童(生徒)数・学級数が多い学校だから</b>	17.3	17.5	17.4	<b>37.0</b>	<b>19.6</b>	9.3	9.8	9.6	<b>38.9</b>	<b>29.4</b>
児童(生徒)数・学級数が少ない学校だから	14.0	10.8	12.4	11.1	△ 1.3	5.0	3.7	4.4	0.0	△ 4.4
選択制で選んだ小学校の進学先中学校						7.7	17.2	12.5	2.8	△ 9.7

この項目は全市に比べて差が顕著な項目である。

「仮平均」は、各年度ごとの割合を合算し2で除したものであるため、正確な平均値ではない。

R2年度の調査報告では「その他行きたくない」などの回答割合が示されていたが、R3年度の結果公表分には当該部分が除かれているため、港区分についても同様の取扱いとする。